

伊予市図書館・文化ホール等 管理運営 分科会

図書館・カフェ・文化ホール・地域交流機能
第4回合同分科会開催!!

第4回機能分科会は、「図書館・カフェ・文化ホール・地域交流機能」各分科会の合同版として、2月10日に開催されました。今回の参加者は19名、諸室の名称についてをテーマに検討していただきました。新しい文化施設には、ホール・図書館のほか、調理ができる部屋や和室なども入る予定です。複合施設として多くの人に使っていただくなかで、諸室の名称は、その部屋の使われ方や親しみやすさと関連したとても重要な議題です。そのため今回は2つの分科会を機能で分けず、全体同時開催としました。部屋の機能を出るだけ簡単に表現しようとするチーム、伊予の特色でまとめたチームなど、意見は様々に分かれてきました。そんなあらゆる意見の中に共通してみられた特徴は、「市民の認知度が向上し、愛着をもってもらえる名称にする」、「誰に対しても分かりやすい名称にする」、「誰に對しても分りやすい名称にする」という思いです。また「市民から広く公募する」という意見も多く挙がり、より多くの人にこの施設に対して関わってもらおうという皆さんの情熱を感じました。これから諸室だけでなく施設全体の名称も考えていくことになりませんが、この思いをきちんと受け止めて、検討を進めていきたいと思ひます。



第4回 図書館・カフェ・文化ホール・地域交流
合同分科会
テーマ「諸室の名称について」
市民ご意見（抜粋）

現在の名称

新しい名称

2way ルーム 1・2・3・4
(図書館・ホールなどの
様々な用途で使うことが
できる。会議室、楽屋など)

- ・フリールーム
- ・菜の花・水仙・桜・あじさい
- ・楽屋 (ホール使用時)
- ・会議室

アトリエ 2
(調理設備がある部屋)

- ・アトリエキッチン 24
(24=収容人数)
- ・谷上山、五色浜
- ・食文化室

その他
アトリエ 3 (工芸ができる)
多目的スペース
対面朗読室 など

- ・アトリエ 3 →創作室
- ・多目的スペース
→大会議室、五色姫 など
- ・対面朗読室
→読み聞かせ室、いちご



<アトリエ>って
どんな場所?

諸室の名称の中で話題に挙がった<アトリエ>。もともとは「工房」という意味で、画家・美術家・工芸家・建築家などの芸術家が仕事を行うための専用の作業場のことです。(また、その工房を拠点とする芸術家集団をさすこともあります。) 他文化施設の<アトリエ>はどんな場所なのでしょう。



茅野市民館
アトリエ

マルチホールの舞台と同じ大きさがあり、舞台稽古・小規模な発表会・ワークショップなどにも利用されます。バレー・バーや鏡も用意されています。

富士見市民文化会館
キラリふじみ アトリエ

絵画や陶芸、フラワーアレンジメントなど趣味の利用に適しています。

